英語科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	英語科	学年・組	第２学年２組	場所	第２学年２組教室
単元名	Friends from Singapore　（第９時／全１２時）				
本時の目標	・既習の比較表源を用いて、自らの調査結果を整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 ・パフォーマンステストに向けて、ペアで協働しながら、互いの表現を改善し、伝え合う力を高める。				
本時の評価規準	・既習の比較表現を活用し、自らの調査結果を整理するとともに、相手に分かりやすく伝わるように工夫して表現している。（思考・判断・表現） ・パフォーマンステストに向けて、ペアで積極的に学び合い、互いの表現を改善しながら、よりよい発表を目指して粘り強く取り組んでいる。（主体的）				
本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて	
	思考・判断・表現	既習の比較表現を適切に活用し、調査結果に自分の考えや理由を加えるなど、相手に分かりやすく工夫して表現している。	既習の比較表現を用いて、自分の調査結果を適切に表現している。	比較表現を用いた英文や語句リストを提示し、調査結果に合わせて語句を選んだり、文を組み立てたりできるように支援する。	
	主体的に学習に取り組む態度	パフォーマンステストに向けて、ペアで積極的に助言や意見交換を行い、相手の意見を取り入れながら、自分の表現をよりよくしようと粘り強く取り組んでいる。	パフォーマンステストに向けて、ペア活動に参加し、助言を受けたり、自分の表現を見直したりしながら学習に取り組んでいる。	ペアで取り組む内容や手順を明確に示し、具体的な質問例や声かけを用いて、互いに助言したり、自分の表現を見直したりできるように支援する。	

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	アンケート結果を、比較表現を正しく使って伝えることができる。【知識・技能獲得型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	これまでに学習した比較表現を、本時のアンケート結果の発表活動に活用することで、既習事項の定着を図る。また、ペアで意見を交流し、互いの表現の良さや改善点に気づかせるとともに、生徒の実態に応じた支援を行いながら、英語で情報を整理し、相手に分かりやすく伝える力を育成する。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

学びや気づき：これまでに学習した比較表現を使って、クラスのアンケート結果を英語で表現することができた。特に、比較級や最上級を使うことで、調査結果を分かりやすく伝えられることが分かった。他の人とのやりとりを通して、自分とは違う表現の仕方にも気づくことができた。

これから：新しく学習したことに加え、これまでに学習した表現も使って、自分の考えを伝えられるようにしたい。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
形容詞や副詞の比較級・最上級・同等非核などの文構造を理解し、それらを用いて事実や自分の考え、調査結果などを聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする技能を身につけている。	既習の比較表現を活用し、調査結果を整理して、自分の考えや事実を適切に表現している。	パフォーマンステストに向けて、ペアで協力しながら自分の表現を改善し、粘り強く学習に取り組もうとしている。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1	形容詞の比較級・最上級 (-er/ the -est)	知識・技能 思・判・表	7	同等比較(as …as～)	知識・技能 思・判・表
2	形容詞の比較級・最上級 (-er/ the -est)	知識・技能 思・判・表	8	副詞の比較級・最上級	知識・技能 思・判・表
3	形容詞の比較級・最上級 (-er/ the -est)	知識・技能 思・判・表	9 本時	アンケート結果をもとにまとめ、伝える	思・判・表 主体的
4	形容詞の比較級・最上級 (-er/ the -est)	知識・技能 思・判・表	１０	教科書の内容理解①	主体的
5	形容詞の比較級・最上級 (more/ the most)	知識・技能 思・判・表	１１	教科書の内容理解②	主体的
6	形容詞の比較級・最上級 (more/ the most)	知識・技能 思・判・表	１２	教科書の内容理解③	主体的

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 (評価方法)
	めあて：アンケート結果を、比較表現を正しく使って伝えることができる。		
導入 （５分）	前時までの学習を振り返り、本時の課題（めあて）を確認する。		
展開１ （１０分） 展開２ （３０分）	パフォーマンステストに向けて、ペア活動を行う。 クラスのアンケート結果をもとに、比較表現を用いて、教員に伝える。 自身の英文をワークシートに書く。	話の流れを理解しながら活動させる。 〇英単語の読み方等の支援。 既習事項の英文を振り返りながら書くことを意識させる。	思考・判断・表現 （ワークシート） 思考・判断・表現 （ワークシート）
まとめ （５分）	本時の振り返りを書く。	何と何を比べ、どの比較表現を使ったか、相手に分かりやすく伝えるために工夫したことを意識して書くよう促す。	主体的 （ワークシートの振り返りの箇所）